

※資料に関するお問い合わせ先

奈良国立博物館 学芸部 情報サービス室

Tel 0742-22-4463(直通) Fax 0742-22-7221

令和元年 7月 12日

奈良国立博物館

わくわくびじゅつギャラリー

## いのりの世界のどうぶつえん

Exploring Art: Creatures of Faith

欢欣雀跃的美术画廊：神佛世界的动物园

두근두근 설레는 미술 갤러리: 신앙 속의 동물나라

### プレスリリース

[1] 会 場 奈良国立博物館 東新館

[2] 会 期 令和元年 7月 13日(土)～9月 8日(日)

休 館 日 毎週月曜日、7月 16日(火)

※ただし 7月 15日、8月 5日、12日は開館

開館時間 午前 9時 30分～午後 6時

※ただし、金・土曜日は午後 8時まで、

8月 5日(月)～8日(木)、11日(日・祝)～15日(木)は午後 7時まで、

8月 9日(金)、10日(土)は午後 9時まで

※いずれも入館は閉館の 30分前まで

[3] 主 催 奈良国立博物館、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会

共 催 奈良文化財研究所

協 力 仏教美術協会

[4] 観覧料金 一 般 520円(410円)

大 学 生 260円(210円)

※ ( ) 内は以下の料金です。

① 責任者の引率する 20 名以上の団体

② 親子割引 [子ども (高校生以下および 18 歳未満の方) と一緒に観覧される方]

③ レイト割引 [開館時間延長日の午後 5 時以降に観覧される方]

※ 高校生以下および 18 歳未満の方、満 70 歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方 (介護者 1 名を含む) は無料です。

※ この観覧料金で、同時開催の特別陳列「法徳寺の仏像」(西新館)、名品展「珠玉の仏教美術」(西新館)・「珠玉の仏たち」(なら仏像館)・中国古代青銅器 [坂本コレクション] (青銅器館) もご覧になれます。

※ 9 月 1 日(日)は、どなたでも無料で観覧できます。(関西文化の日プラス)

## [5] 展覧内容

本展覧会は、数々の仏教美術の中から、動物や想像上の生き物を表し、描いた作品を選びすぐってご紹介する、親子向けの展覧会です。「どうぶつたち」はなぜ、仏や神の世界にさかんに登場するのか、その秘密に迫ります。また、日本で仏教美術が本格的に生み出される以前の、くらしの中のいのりに関わる動物造形も合わせて紹介します。

展覧会場にはお子様から大人まで、わくわくしながら鑑賞していただけるよう、様々な工夫をこらしています。博物館・美術館デビューのきっかけや夏休みの自由研究として、また、仏教美術に親しむ第一歩として、楽しくご鑑賞ください。

## [6] 出陳品 65 件 (うち 国宝 5 件、重要文化財 18 件)

### [7] 主な出陳品 ※図版は後掲

前期展示：7/13～8/18 後期展示：8/20～9/8

- |    |  |           |       |
|----|--|-----------|-------|
| 1. | <small>いぬがたはにわ</small><br>犬形埴輪 (伝・茨城県東海村外宿出土)                        | 当館        |       |
| 2. | 重要文化財 <small>しゃかさんぞんぞう</small><br>釈迦三尊像                              | 当館        | ※前期展示 |
| 3. | 重要文化財 <small>くじゃくみょうおうぞう</small><br>孔雀明王像                            | 奈良・法隆寺    | ※後期展示 |
| 4. | 重要文化財 <small>かすがしかまんだら</small><br>春日鹿曼荼羅                             | 当館        | ※前期展示 |
| 5. | 重要文化財 <small>じゅうにしんしょうりゅうぞう</small><br>十二神将立像                        | 奈良・東大寺    |       |
| 6. | <small>ぶつねはんず</small><br>仏涅槃図  | 個人        |       |
| 7. | 国宝 <small>かりょうびんがもんすかしほりけまん</small><br>迦陵頻伽文透彫華鬘                     | 岩手・中尊寺金色院 |       |
| 8. | <small>ししこまいぬ</small><br>獅子・狛犬                                       | 奈良・薬師寺    |       |
| 9. | 国宝 <small>へきじゃえ せんだんけんたつば しんちゅう びしゃもんでん</small><br>辟邪絵 梅檀乾闥婆・神虫・毘沙門天 | 当館        | ※前期展示 |

## [8] 関連イベント

### ◆親子講座「どうぶつえんのわくわくガイド」

「いのりの世界のどうぶつえん」をもっと楽しむための、担当学芸員による親子向けスライドトークです。

◇日時：7月27日（土） ①午前10時30分～11時15分 ②午後1時30分～2時15分

◇講師：中川あや（当館学芸部主任研究員）

◇会場：当館講堂

◇対象：小・中学生とその保護者

◇定員：各回30組

◇参加費：無料

◇申込方法：当館ホームページ応募フォームによる事前申込制

[https://www.narahaku.go.jp/events/2019event/creatures\\_guide.html](https://www.narahaku.go.jp/events/2019event/creatures_guide.html)

※7月1日（月）午前10時より受付開始。先着順で定員になり次第、受付終了

### ◆絵本づくりワークショップ「とびだす！うごく！いのりの世界のどうぶつ」

キットを使って、「辟邪絵（へきじゃえ）」に登場する神虫、「春日鹿曼荼羅」に登場する神鹿をモチーフにしたしかけ絵本を作る親子向けワークショップです。出来上がった作品はお持ち帰り頂けます。

◇日時：8月17日（土）

①午前10時00分～12時00分 「パクパク神虫」

②午後1時30分～3時30分 「フワリと神鹿」

◇会場：当館地下回廊

◇対象：小・中学生とその保護者

◇定員：各回18組

◇参加費：無料

◇申込方法：当館ホームページ応募フォームによる事前申込制

[https://www.narahaku.go.jp/events/2019event/creatures\\_workshop.html](https://www.narahaku.go.jp/events/2019event/creatures_workshop.html)

※7月1日（月）午前10時より受付開始。先着順で定員になり次第、受付終了

◇主催：奈良国立博物館・奈良教育大学大学院「地域と伝統文化」教育プログラム

◇協力：近畿ESDコンソーシアム

[9] その他

◆シャトルバスの運行

展覧会の共催を記念して、奈良国立博物館と平城宮跡資料館の2施設をつなぐシャトルバスを運行します。

◇運行期間：7月13日(土)～9月8日(日)

※ただし、7月16日(火)、22日(月)、29日(月)、8月5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(月)、9月2日(月)

◇発着スケジュール

午前10時30分 平城宮跡資料館 発 ⇒ 午前10時50分 奈良国立博物館 着

午前11時30分 奈良国立博物館 発 ⇒ 午前11時50分 平城宮跡資料館 着

午後2時00分 平城宮跡資料館 発 ⇒ 午後2時20分 奈良国立博物館 着

午後3時00分 奈良国立博物館 発 ⇒ 午後3時20分 平城宮跡資料館 着

※到着時刻は当日の交通混雑状況によって前後するため、予定時刻となります。

[10] 問い合わせ先

奈良国立博物館 Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50 (奈良公園内)

ハローダイヤル 050-5542-8600

ホームページ (URL) <https://www.narahaku.go.jp/>

〈交通案内〉近鉄奈良駅下車徒歩約15分

またはJR奈良・近鉄奈良駅から市内循環バス外回り「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

## 【主な出陳品】

### 1. <sup>いぬがたはにわ</sup>犬形埴輪 (伝・茨城県東海村外宿出土) 1体

土製 高 41.2 cm

古墳時代 (6世紀)

当館 [出陳番号 4]

古墳の被葬者のために墳丘や古墳の周囲に立て並べられた動物埴輪の一種。狩人や猪を表した埴輪と共に立てられ、猪狩りの場面を表すことが多く行われました。本作品は、猟犬にしては体に緊張感がなく、表情もあどけなさがあります。埴輪作りのおおらかさが感じられる作品です。



### 2. 重要文化財 <sup>しゃかさんぞんぞう</sup>釈迦三尊像 3幅

絹本着色 各縦 117.0 cm 横 58.2 cm

鎌倉時代 (14世紀)

当館 [出陳番号 8] ※前期展示

獅子が顔をのぞかせる宝壇上に坐す釈迦如来と、獅子に乗る文殊菩薩、六牙の白象に乗る普賢菩薩を各一幅に描きます。獅子のモデルとなったライオンはインドにおいて偉人の威厳を象徴する動物でした。文殊菩薩が獅子に乗るのは、インドから砂漠を越えて、文殊の聖地として信仰を集めた中国・五台山に遊行する姿を表したともいわれます。象は陸上で一番大きな動物であり、仏教ではときおり生まれる白色の象が神聖なものとして大切にされました。釈迦の面長な面貌や長い爪などに中国・宋からの濃厚な影響がうかがわれる作品です。



普賢菩薩



釈迦如来



文殊菩薩

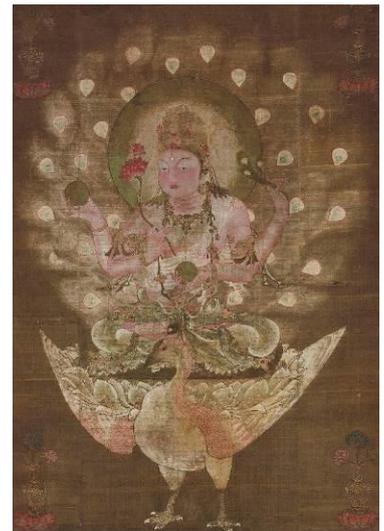
3. 重要文化財 くじゃくみょうおうぞう 孔雀明王像 1幅

絹本著色 縦 118.5 cm 横 82.0 cm

鎌倉時代（13世紀）

奈良・法隆寺 [出陳番号 18] ※後期展示

孔雀明王は、毒蛇を食べる孔雀を神格化したもので、人々の執着や憎しみなどのあらゆる毒を消し去り、災いを取り除く特別な力をもつほとけとして篤く信仰されてきました。明王の長く伸びた爪先や、身体に施される強い赤色の隈どりなど、中国大陸の仏画に顕著に見られる特徴を示しています。



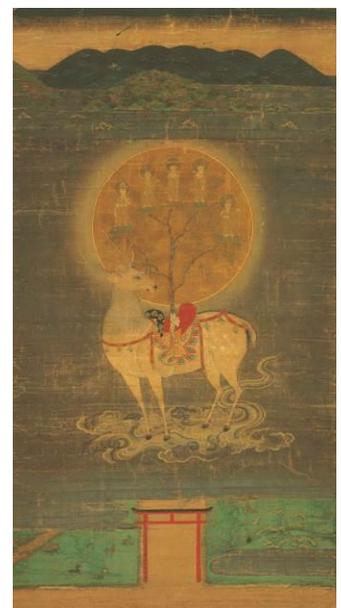
4. 重要文化財 かすがしかまんだら 春日鹿曼荼羅 1幅

絹本著色 縦 76.5 cm 横 40.5 cm

鎌倉時代（14世紀）

当館 [出陳番号 27] ※前期展示

春日大社の境内の風景のなかに白い鹿が雲に乗って浮かび、鹿の鞍くらから伸びたさかき榊の木の先に金色に輝くほとけの姿が表された幻想的な絵画。ここに描かれるほとけは、春日大社にまつられる神さまがほとけの姿で現れたもので、榊の木は神さまが移動する際に乗り移る神聖な木です。このことから、鹿が神さまの乗りものとして表されていることがわかります。



5. 重要文化財 じゅうにしんしょうりゅうぞう 十二神将立像 12軀

木造 彩色・截金 像高 95.0～110.6 cm

平安時代（12世紀）

奈良・東大寺 [出陳番号 34]

十二神将は薬師如来の信者を守護する役割をもつ十二の大將。当初、十二神将と十二支とは無関係でしたが、十二という数字の一致から、おおよそ平安時代後期に両者が合体すると考えられます。本作品は、このことが確かめられる最古の作品です。頭頂および腹部に動物が明確に表されており、その多くが当初のものであることはたいへん貴重です。



十二神将立像のうち子神（部分）

6. <sup>ぶつねほんず</sup> 仏涅槃図 1 幅

絹本着色 縦 170.2 cm 横 137.7 cm

鎌倉時代（14 世紀）

個人 [出陳番号 42]

仏教の開祖・釈迦<sup>しゃか</sup>の死（涅槃）の情景を絵画化したものです。毎年、釈迦入滅<sup>にゅうめつ</sup>の日とされる 2 月 15 日に、仏教信者が釈迦の涅槃を追体験する儀式としてとり行われる涅槃会<sup>ねはんえ</sup>で本尊画像として用いられました。横たわる釈迦の周りには、釈迦の死という現実を前に悲嘆<sup>ほきつ</sup>にくれる菩薩や天部、釈迦の弟子、王や貴族、庶民たちのほか、あまたの動物たちがそれぞれに悲しむ姿が描かれています。



7. 国宝 <sup>かりょうびんがもんすかしほりけまん</sup> 迦陵頻伽文透彫華鬘 1 面

銅製 鍛造 鍍金 縦 29.3 cm 横 33.7 cm

平安時代（12 世紀）

岩手・中尊寺金色院 [出陳番号 48]

華鬘<sup>なげし</sup>は寺堂の長押<sup>なげし</sup>などに懸けて、堂内を莊嚴<sup>しょうごん</sup>するための用具です。本来は生花を繋いだものとされますが、耐久性の面から、金属や獣皮、木などで作製されるようになりました。本作品に表されたのは上半身が人間で下半身が鳥というインド起源の空想上の動物・迦陵頻伽。極楽浄土に住み、美しい声で鳴くとされます。



8. <sup>しし</sup> 獅子・<sup>こまいぬ</sup> 狛犬 2 軀

木造 彩色 （獅子）像高 79.0 cm （狛犬）像高 82.3 cm

鎌倉時代（14 世紀）

奈良・薬師寺 [出陳番号 55]

口を開いて吠え<sup>ほ</sup>声をあげそうなものが獅子、口は閉じ、頭の上に角をもつのが狛犬で、薬師寺の鎮守<sup>ちんしゅ</sup>、休ヶ岡八幡宮の社殿に置かれていたとみられます。獅子は百獣の王・ライオンをモデルとし、狛犬は朝鮮半島地域の犬を意味しますが、いずれも想像上の動物です。先端が巻く派手なタテガミや、重々しい体型、力の強そうな各部の筋肉に鎌倉時代後期の動物彫刻の特徴が表れています。



9. 国宝 <sup>へきじゃえ</sup> 辟邪絵 <sup>せんだんけんたつぼ</sup> 梅檀乾闥婆・<sup>しんちゅう</sup> 神虫・<sup>びしゃもんてん</sup> 毘沙門天 3幅

紙本著色

(梅檀乾闥婆) 縦 25.8 cm 横 77.2 cm

(神虫) 縦 25.8 cm 横 70.0 cm

(毘沙門天) 縦 25.8 cm 横 76.5 cm

平安～鎌倉時代 (12世紀)

当館 [出陳番号 62] ※前期展示

善神が悪鬼を懲らしめる様子を描いた作品。ひとつの絵巻に含まれていたうちの三つの場面で、それぞれ、子どもの命を奪う十五の鬼（動物の姿など）の首を鉾に串刺しにする梅檀乾闥婆という神さま、朝に三千、夜に三百の鬼を食べるといふ虫の姿の怪物である神虫、修行中の僧侶を邪魔する、翼を持った鬼を追い払う毘沙門天の姿を描いています。



神虫